

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1	室内騒音レベル							
2	設備騒音対策							
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能					3.0		
2	界壁遮音性能					3.0		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0				3.0		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0				3.0		
1.3 吸音						3.0		
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温					3.0		
2	負荷変動・追従制御性							
3	外皮性能					3.0		
4	ゾーン別制御性							
5	温度・湿度制御							
6	個別制御							
7	時間外空調に対する配慮							
8	監視システム							
2.2 湿度制御						3.0		
2.3 空調方式						3.0		
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率					3.0		
2	方位別開口					3.0		
3	昼光利用設備					3.0		
3.2 グレア対策								
1	照明器具のグレア							
2	昼光制御					3.0		
3	映り込み対策							
3.3 照度						3.0		
3.4 照明制御						3.0		
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質					3.0		
2	アスベスト対策							
3	ダニ・カビ等							
4	レジオネラ対策							
4.2 換気								
1	換気量					3.0		
2	自然換気性能					3.0		
3	取り入れ外気への配慮					3.0		
4	給気計画							
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視							
2	喫煙の制御							
Q2 サービス性能					0.43			2.7
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1	広さ・収納性	3.0	1.00					
2	高度情報通信設備対応					3.0		
3	バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性								
1	広さ感・景観					3.0		
2	リフレッシュスペース							
3	内装計画							
1.3 維持管理								
1	維持管理に配慮した設計							
2	維持管理用機能の確保							
3	衛生管理業務							
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1	耐震性	2.7	0.52					2.7
2	免震・制振性能	3.0	0.48					
2.2 部品・部材の耐用年数								
1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.80					
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20					
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.5	0.33					
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.25					
5	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.0	0.25					
6	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.10					
7	空調・給排水配管の更新必要間隔	-	-					
8	空調・給排水配管の更新必要間隔	-	0.17					
9	主要設備機器の更新必要間隔	4.0	0.25					
		主要設備は自動火災報知器と蛍光灯 共に耐用年数は20年						

2.4 信頼性			2.3	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		-	-	-	-	
2	給排水・衛生設備		-	-	-	-	
3	電気設備		3.0	0.33	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.33	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.33	-	-	
3 対応性・更新性			2.8	0.48	-	-	2.8
3.1 空間のゆとり			2.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=385.64(m)/4,042.3718(m ²)=0.09539	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.17	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.17	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.33	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.33	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.3
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=42.2%	5.0	0.43	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			5.0		-	-	
集合住宅の評価		ERR=42.2%	3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+ベンキ仕上げ	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.68	-	-	
1	消火剤	全て移動式粉末消火器であり、不活性ガス消火剤は使用していない	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	5.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		高効率の設備システムの使用	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼器具を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	